

クリエイタービジネス論リサーチプロジェクト 2023 感想

国際日本学部 国際日本学科 4年

長尾柚花

私は昨年度の留学先で国際マーケティングの授業を履修し、どこかでこの知識を活かせないかと考えていた時に、講義内で原田先生に今回のリサーチプロジェクトをご提案して頂き、今回参加を決意致しました。一括りに「音楽」といっても、楽しみ方や趣味の幅は多岐に渡り、音楽業界はそれぞれのニーズに合わせて戦略を練らなければなりません。そこで私が注目したのは音楽サブスクリプションです。近年では Spotify や Apple Music を始め、低価格で沢山の音楽を視聴することが出来る、様々な音楽サブスクリプションサービスが提供されるようになりました。しかしそのバリエーションの多さのあまり、音楽消費者はどのコンテンツを利用すべきか迷うことがあります。今回の調査では、人々は何をきっかけとしてサブスクリプションに加入するのか、またサブスクリプションの何に価値を感じているのか、そしてなぜ数あるサービスからそのコンテンツを選択したのかを調査し、市場分析を行いました。

また今回は過去3年に渡る新型コロナウイルス禍の記憶に関するリサーチも行いました。今回のリサーチの回答に協力してくれた学生は、主にコロナウイルスによって活動が制限され、高校時代や大学時代の貴重な経験を奪われてしまった学生たちです。そんな彼らがコロナ禍に対してどのような心情を描いているのか、悪い面のみではなく良い面においての分析も行ったので、その分析結果が非常に興味深かったです。

今回のリサーチは任意参加であったにも関わらず他3名の学生が集まり、意見交換を行い、それぞれの興味のある分野について考察を行いました。そこで私が感じたのは、音楽の楽しみ方の多様性です。ただ単に数字を見比べるのではなく、それぞれリサーチメンバーが違う分野について考察した中で共通点を見つけ、複数のデータを比較することで新たな発見をすることができました。今回は少人数で行ったので1人あたりの負担が大きく、限られた時間の中で、何度もクラスや Zoom で話し合いを繰り返し、リサーチプロジェクトを作り上げたので、とても大変ではありましたが、完成した時は大きな達成感がありました。私はリサーチメンバーの中では最高学年での参加でしたが、参加して下さった学生の皆さん全員とても鋭い視点や、音楽に対する価値観を持っており、年の差を感じないとても良いグループでリサーチが出来たと思います。1人では決して完成させることができない程、内容が濃いプロジェクトですので、是非音楽に興味のある方を始め多くの方に見て頂けると幸いです。

最後に、今回このプロジェクトに携わってくださった皆様、指導して頂いた原田先生に深く御礼申し上げます。